

山口放送のワイドFM

(FM補完中継局)

整備状況と今後について

放送を巡る諸課題に関する検討会
「地域における情報流通の確保等に関する分科会」

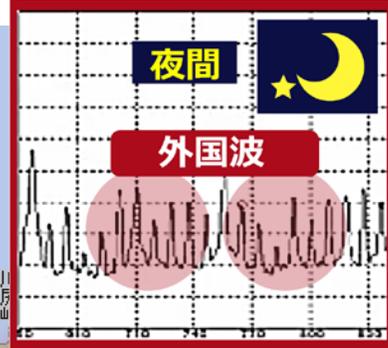
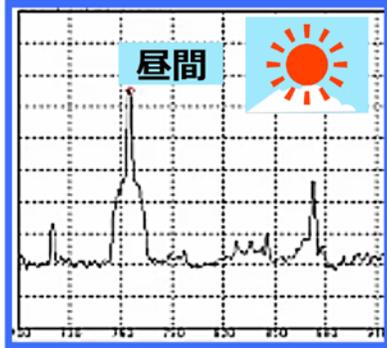
KRY山口放送
K R Y 山口放送(株)

山口放送の歴史 ～KRYのおいたち～



K R Y山口放送は昭和31年 株式会社ラジオ山口（K R Y）として創業。昭和34年にはテレビの放送を始め、ラ・テ兼営社として今年4月には開局60周年を迎えた。ラジオ局として始まった会社であることから、ラジオに対する強いこだわりがある。多くのラジオ聴取者に今も支えられており、これからもK R Yのラジオファンを大切にしていきたい。

KRYラジオ (AM) の放送ネットワークのリスク (県内6局)



外国波混信

北長門海岸国定公園
須佐田万川
765kHz
300W
萩 1485kHz
1kw



KRYラジオ (AM) の放送ネットワークに於ける

- 周南親局 (大津島) の災害リスク —
- 日本海側中継局の外国波混信 —
- 県内全域の都市型難聴 —

の対策としてワイドFM (FM補完中継局) の導入を検討

下関
918kHz
1kw

山口
765kHz
300W

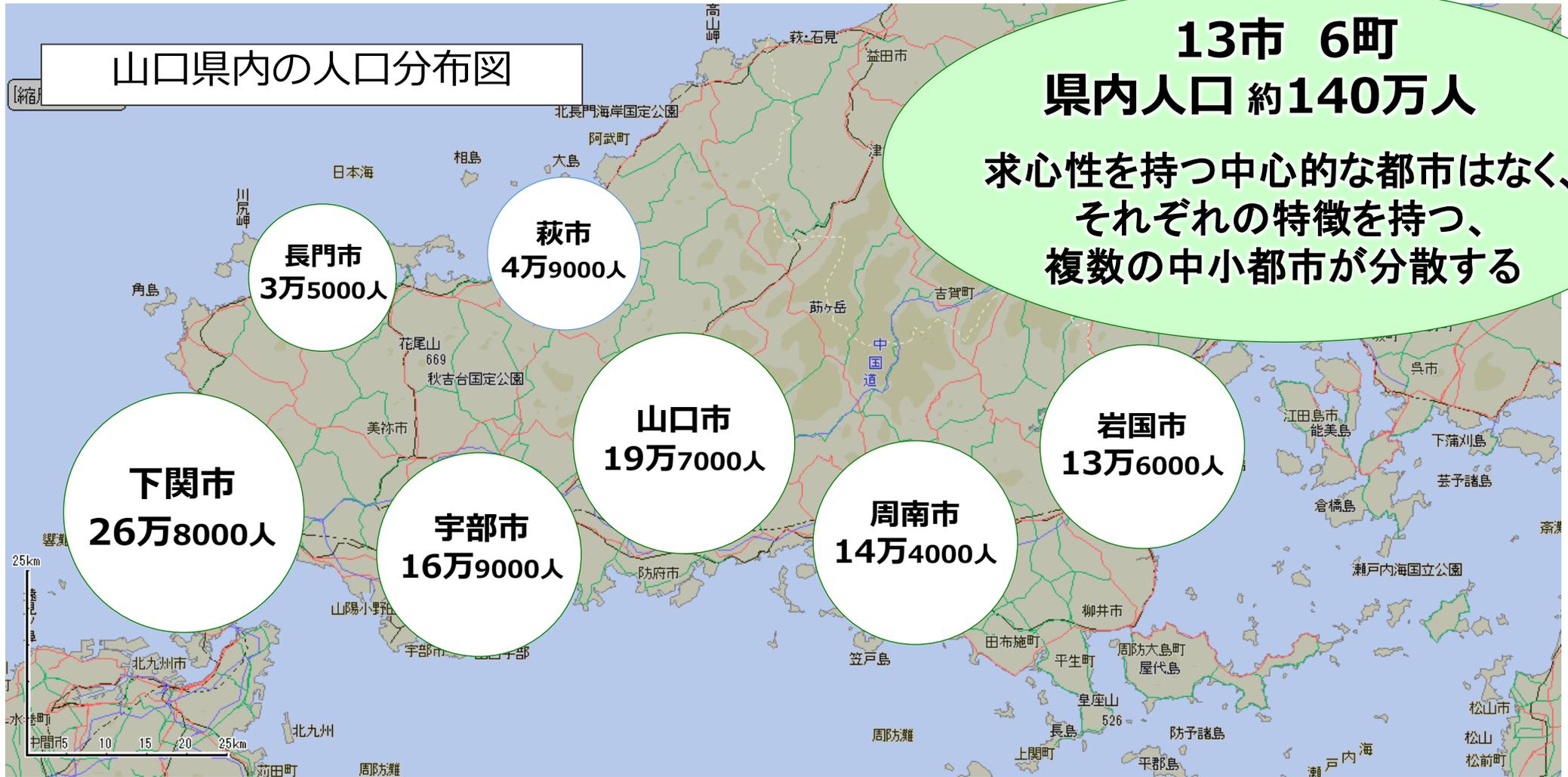
周南 (親局)
765kHz 5kw

岩国
918kHz
1kw

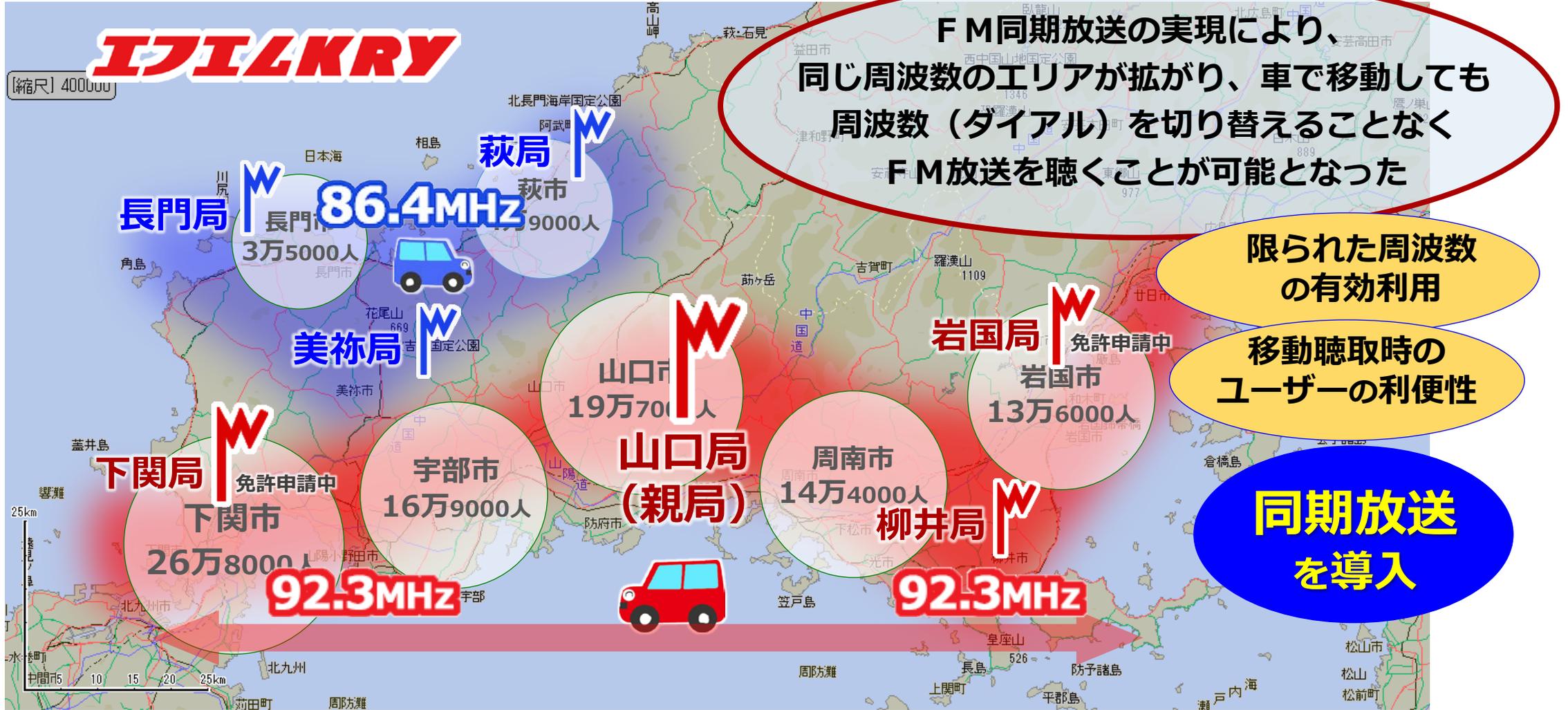
山口県内 FM置局の状況と同期放送の検討



山口県の特徴～『それぞれの特徴を持つ分散型の都市構造』



KRYラジオの「デジタル同期」を用いた ワイドFM ネットワーク概要

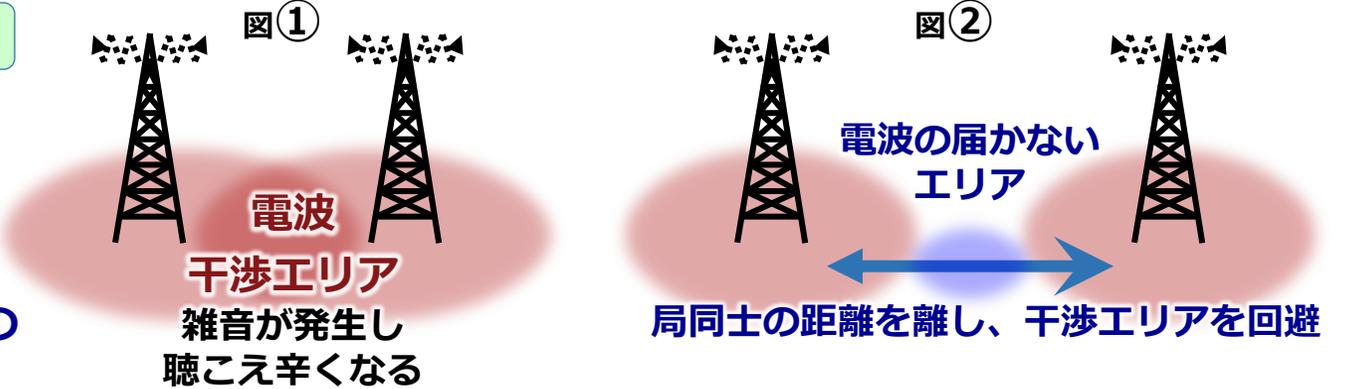


干渉エリアでもクリアな聴取実現 KRY山口放送 開発 デジタル同期放送

同期放送とは・複数の局で同じ周波数を使用して放送する方式

従来のFM同期放送の課題とデジタル同期

- ◆ 同じ周波数が重なるエリア『干渉エリア』では「雑音が発生し聴こえ辛くなる」 図①
- ◆ 同期放送を導入する場合は、『干渉エリア』回避するため、『FM局同士（親局と中継局）の距離を保ちながら』設置することが必須となり、結果、電波の届かないエリアが発生 図②



KRY山口放送が開発した**デジタル同期放送**= GPS衛星等により常時、周波数と電波発射のタイミング（1/100万分秒の精度）を合わせる「デジタルFM送信機」を新たに開発し、**同一電波による干渉エリアでも、クリアなFM放送の聴取**が実現！



現在特許申請中

KRY山口放送 開発 デジタル同期放送

同一周波数
エリア拡大

移動聴取時の
ユーザーの
利便性

限られた
周波数の
有効利用

全国レベル
でのワイドFM
置局数増大



「デジタルFM同期放送」を用いた ワイドFM ネットワーク概要

ワイドFM KRY

日本海側での同期放送 86.4MHz

KRY長門FM (矢ヶ浦山)
86.4MHz (20w)

KRY萩FM (田床山)
86.4MHz (100w)

KRY美祿FM (桜山)
86.4MHz (100w)

KRY下関FM (予定)
92.3MHz (100w)

KRY山口FM (大平山)
92.3MHz (1kw)

KRY柳井FM (石城山)
92.3MHz (100w)

KRY岩国FM (予定)
92.3MHz (100w)

瀬戸内海側での同期放送 92.3MHz

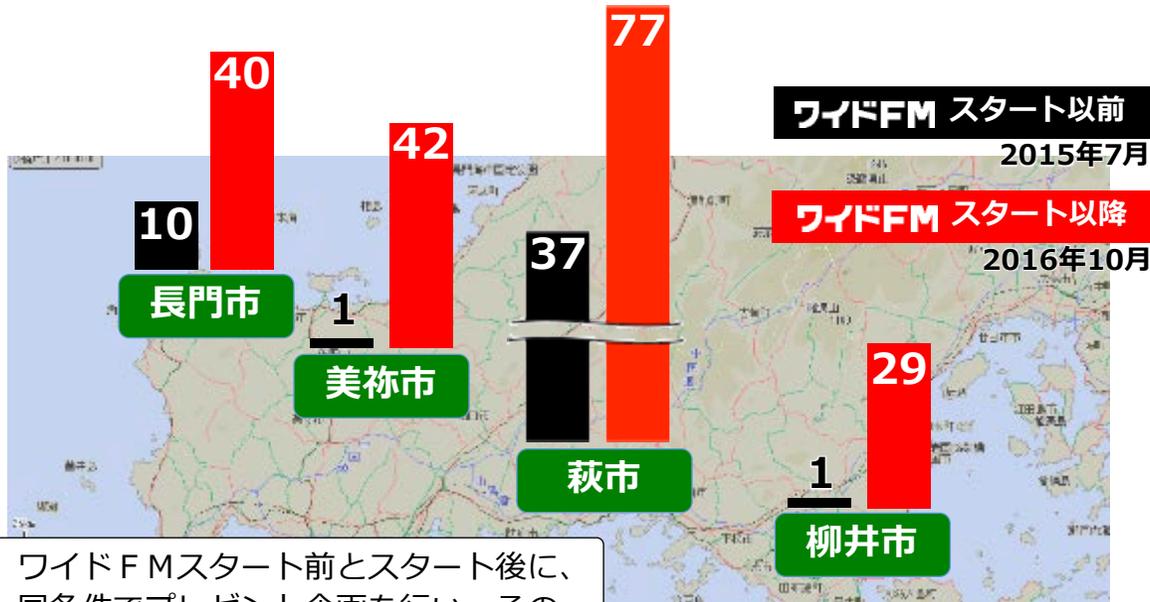
- 「山口局」平成27年 7月 開局
- 「美祿局」平成27年 11月 開局
- 「長門局」平成28年 4月 開局
- 「萩局」平成28年 8月 開局
- 「柳井局」平成28年 10月 開局

- 今後、岩国局/下関局を平成29年中に整備予定 (免許申請中)
- 県内で合計13局を整備予定

山口県内カバー率
約50%
平成28年12月現在

ワイドFM (FM補完放送) 開局時のリスナーからの反応

ワイドFM開局以降、リスナーからの反応は急増



ワイドFMスタート前とスタート後に、同条件でプレゼント企画を行い、その応募数を開局した地域ごとに集計

リスナーの反応が薄かった美祢、長門、柳井地区もFM開局に伴い番組への参加者が増え、徐々に地域間聴取格差が解消されている

- AMと番組内容は同じですが、音質でこれだけ印象が違ふかという思いです。 
- 萩から山口まで通勤していますが、チューニングを変えずにクリアな音ですっと聴けるようになりました。 
- FM開局待ってました。毎日家事をしながら、畑仕事をしながら聴いています。ラジオは「手」と「目」が空くので作業がはかどります。 
- FMの音質はやはり良いですね。懐かしい曲をリクエストしたくなります。 
- 私はトラックドライバーをしていて毎日セメント工場に行っています。AMだと工場内では聴き辛いことがありましたが、FMではクリアに聴けます。 

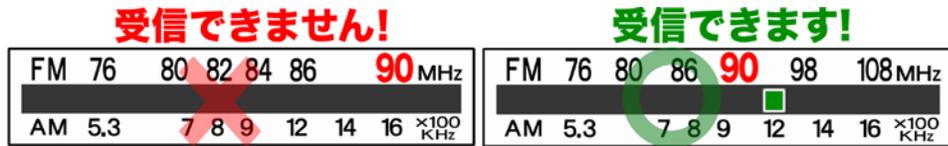
画像はイメージです

ワイドFMの当初の課題と現状 ①

ニッポン放送調べ 2016.12.1現在

ワイドFM対応受信機普及の問題

- ☑ FM受信周波数が90.1MHz～94.9MHzの受信に対応した受信機が必要
- ☑ 特にカーラジオのワイドFM対応が課題



ワイドFM対応ラジオ (ラジカセ等を含む) は、ソニー東芝、パナソニックなど各メーカーの理解協力により積極的に生産販売され、すでに**店頭レベルでは100%**に近い、予想を遥かに超える普及を見せている

ワイドFM対応カーラジオ (カーナビ等を含む) もトヨタ、日産、ホンダより**一部標準装備を含むオプションの形での対応が開始**されるなど、こちらも**当初の予想を遥かに超える普及**を見せている



ワイドFMの今後の課題 ①

強力且つ継続的なワイドFMのPR

- ☑ 音質クリア・デジタルFM同期・災害に強い等ワイドFMの機能と効果を最大限の活用、「県民への地域情報の提供」を確保するために、「ワイドFMの利用率向上」を目指して今後さらに強力且つ継続的なワイドFMのPRを行う

地域性を重視したキメの細かいPR → □
(ワイドFM開局時に配布)



↑ ワイドFMの開局イベントでのPR



↑ 兼営局の強みを活かしたKRYテレビでの日常的なPR

ワイドFMの今後の課題 ②

ワイドFMと今後の民放AMラジオ経営への影響



- ☑ 「AM放送送信費用」に加えての「ワイドFM送信費用」の「二重コスト」、そして新たな「ワイドFM送信設備初期費用」は今後の民放AMラジオ経営に影響
- ☑ 今後、老朽化が進む「送信機を中心としたAM送信設備の更新費用」も同様に民放AMラジオ経営に影響
- ☑ 今後も「ワイドFM」の拡大を図り、「地域情報の担い手」としてのAMラジオの機能を安定存続する為にも、現在の「補助金制度の延長」を含む、一層の国のサポート/バックアップを要望したい



最後に

KRY山口放送のワイドFM **FM71.1 KRY** は、その「周知活動」など、今後、継続的に対処する課題はあるものの「デジタルFM同期放送」の効果もあり、県民リスナーに歓迎され、これまでの「KRYラジオ(AM)」に加えての新たな、そして強力な放送メディアに成長しうるとの手応えを得ております。

一方で、「ワイドFM」は、“番組をリスナーに伝達する(伝える)「メディア＝伝送路」に過ぎない” “主役は番組である”ことは十分認識しています。

今後も引き続き、AM/FMに拘らず県民リスナーに受け入れられる番組を制作すること～『まずは地域に向けての放送ありき』～を念頭に置きながら、引き続き「地域情報の担い手」として、「山口県民に寄り添うラジオ局」としての責務を果たしてまいります。

